

10 月の予定

教会委員会	10 月 12 日
典礼委員会	10 月 5 日
子供のミサ	10 月 26 日
臨時信徒大会	10 月 19 日
バザー	10 月 26 日



カラヴァッジョの『ロザリオの聖母』



アパレシーダのマリア像と  
黒いお顔のイエズス様の御像



アパレシーダ大聖堂

主任司祭 小林 陽一



ブラジルのカトリック信者の皆さんは、アパレシーダのマリア像を大切にしておられます。私が見たそのマリア像は、背の高さ 30 センチくらいで、金の刺繍が入った黒いお服を着ていて、そのお顔も黒い色でした。昔、ブラジルのアパレシーダという小さな村の海岸に、黒いお顔のマリア像が流れ着きました。村人がそのマリア像を拾い上げて、道端に安置しました。そこを通る人が、そのマリア像の前で祈ると、その願いが叶うことがよくあったそうです。それで、特に貧しい人、重い病気の方は、そのアパレシーダのマリア様に助けを願うようになり、少しずつアパレシーダのマリア様の名前が広まったそうです。

フィリピンのマニラの下町にあるキアボ教会の敷地内に、ブラック・ナザレンと呼ばれる黒いお顔のイエズス様の大きな十字架像があります。昔、マニラで神学の研修を受けていた頃、5～6 人のグループで、この御像を訪ねて祈りをする目的で出かけたことがありました。キアボ教会の聖堂入口のすぐ前を右に折れ、10 メートル程奥に入った所の、高い屋根のあるホールのような所に、ブラック・ナザレンは安置してありました。十字架の高さは 5～6 メートルくらいで、十字架に釘づけにされたイエズス様の御像のお顔も体も手足も黒い色でした。私がこの御像の近くに行ったとき、ブラック・ナザレンに切なる表情で祈りをささげておられたのは、フィリピンのたくさんの信者さん達でした。ブラック・ナザレンの御像の前には、その時、長い列ができていました。

ブラック・ナザレンの十字架像は、フィリピンの人々、病気が治って元気になるように祈っているフィリピンの人々の心の支えと希望になっていると思いました。

アパレシーダのマリア様、黒い顔のイエズス様は、病める人、苦しむ人の味方となって、願いが叶うように取り次ぎ、はからって下さっていると思います。



キアボ教会の  
「ブラック・ナザレン」祭

典礼こよみ (10 月)

日 曜	ミサ・勉強会	備考
1 金	初金ミサ (10 時より)	掃除 1 G
4 土	聖フランシスコ (アシジ) 記念・主日ミサ (18 時より)	
5 日	年間第二十七主日 主日ミサ (9 時より)	典礼委員会
8 水	聖書勉強会 (10 時より)	
11 土	主日ミサ (18 時より)	掃除 2 G (9 時 30 分)
12 日	年間第二十八主日 主日ミサ (9 時より)	教会委員会
15 水	聖書勉強会 (10 時より)	
18 土		掃除 3 G (9 時 30 分)
19 日	年間第二十九主日 主日ミサ (9 時より)	臨時信徒大会
22 水	聖書勉強会 (10 時より)	
25 土		掃除 4 G (9 時 30 分)
26 日	年間第三十主日 子どもと共に捧げるミサ (9 時より)	バザー



森脇 信行

日本では子どもの一生の安定を願うことが、子育ての基本におかれています。「安住生活」これはどこの国の誰でもが願っていることですが、重点が安定に片寄りすぎると、危機に直面したとき、解決することが困難になります。独創性や創造性に欠けてもきます。危機管理能力が失われて、集団依存型になり、自ら努力せず誰かがやってくれるだろうという意識が強くなってきます。すなわち、自立心が育ちにくく、依存心が強くなってきます。

フランスで見た子育ての基本は、大人になったときの危機管理ができるように育てることです。何かトラブルやアクシデントに遭遇したとき自分で解決できる能力を育てます。換言すれば「自立心・自己責任の確立」を中心として子育てをしているように見えます。多民族・多言語社会の場合、自己の主張・意見を明確にしていなければいけません。日本のようにア・ウンの呼吸でものがわかったり、目と目で理解し合える等ということはありません。言うべきことは言い、主張すべきことは主張できる。これが、多民族・多言語社会の基本です。ここに個人主義が成長していきます。個人主義が利己主義と違う点は相手の人格を尊重する点です。自分を認めてもらいたければ、相手のことも認める。自分だけの主張だけを通すというのは利己主義で自分勝手ということになります。どうも日本の場合は利己主義を育てているような気がします。依存型の中で自己の主張だけを通そうとする所に衝突が起き、自分勝手な行動で相手に迷惑をかけるようになるのだと思います。

フランス人の親と子の関係に目を向けてみると、生まれた子は出産後2～3日たって退院し、帰宅すると、母親は次の日から子どもを毎日外気浴させます。よほどの暑さ、寒さでない限り、森のある公園あたりで外気に触れさせます。医学的に正しいかどうかはわかりませんが、子どもを強く健康に育てるために外気浴を心掛けるのだそうです。この点では日本の状態は過保護とも言えるでしょう。

夏はヴァカンスの季節で、大体3週間から4週間出かけます。パリをフラフラ歩いているのはほとんど観光客といった感じで、パリは居住者が空っぽになるくらいです。フランス人はヴァカンスのために1年間働いているといわれるくらいです。しかし、このとき出かけるのは夫婦とお犬様です。子供は親と一緒にには出かせないでコロニーにいきます。日本でいう林間学校です。コロニーのほとんどは資格を持った先生が付き添います。空気のきれいな高原でスポーツをしたり、湖や海でヨットに乗ったり、絵を描いたり焼き物をしたりして過ごします。ここで、友人を作り、社会的常識を学びます。親は親、子は子といった感じで、親はヴァカンスを楽しみ、子は正規のインストラクターの元でいろいろな体験をしてきます。この点、親と子がベタベタしている日本とは様子がだいぶ異なります。フランスでは社会の中で常識が養われ、育ませていきます。その姿は自立型養成の基本を見ているようです。そのための時間と場所が提供されているということも大切な一面だだと思います。日本の場合、だれが悪いというのではなく、社会の中で常識が養われ、学んでいくという時間と場所にかけているような気がしてなりません。

## 9月の要理学校だより

### ◆ 親の集い 9月21日(7名) ◆

#### 9月の活動報告

##### ◆ 9/21 答唱詩編とアレルヤ唱 担当岩淵リーダー

御ミサが子供たちにとってわかりにくく、退屈なものにならないよう、一つ一つの典礼を子供なりに理解することによって、積極的に大事にあずかれるように手助けします。

まず、御ミサで歌われる歌にはどんなものがあるか、皆で今日のミサを思い出しながら考えてみました。入祭や聖体拝領など行列で歌われるもの、あわれみの賛歌や感謝の賛歌などのミサ曲、そして朗読の間で歌われる歌が答唱詩編とアレルヤ唱であることを確認しながら、たくさんのお歌がごミサの中で歌われていることをあらためて知りました。

第一朗読の後に歌われるのが答唱詩編で、その日の朗読の内容にふさわしいものを選びます。詩編とは神のことばであり、私達は神のことばをとおして祈り、語りかけていることを伝えました。詩編唱者が詩編を歌い、会衆が答唱句を歌いますが、そのことばの意味がよく伝わる



ように大きな声ではっきりと歌いましょう。皆で実際に答唱詩編を練習しながらその難しさを実感しました。最後に「皆で心をつ一つにして大きな声で歌うと神さまもきくと喜んで下さるよ!」と伝えました。

(Y. I)

#### 10月の活動予定

- ◆ 10/19 「バザーってなんだろう？」 石井リーダー  
クリスマス聖劇の配役決め
- ◆ 10/26 子供ミサ、バザー参加、お手伝い

#### その他

1. 8/30 教会学校リーダー研修会に、井上、美底、岩淵(敬称略)が参加しました
2. 9/14 敬老会パーティーでの余興(トーンチャイムと歌)に参加しました
3. 今学期は、10月のバザー、11月の初聖体、12月のクリスマス聖劇と行事が多く活動も忙しくなりますのでそれぞれの担当を決め、その中で相談しながら動いていきたいと思っています。  
お母様方のご協力、よろしくお願いたします。





# 第5地区教会学校リーダ研修会

井上 昭男

8月31日(日)聖園修道院にておこないました。残念ながら戸塚、原宿、片瀬教会が参加されていませんでした。何回か会っている仲間なので分かち合いもお互いにかざらず本音で話し合いが出来たのではないのでしょうか。

午前中は大船、中和田教会のリーダが通常行っている勉強方法を発表し参加者から意見を出してもらいました。

大船教会は小学一年生から旧約聖書を子供用の聖書を使用せず、大人用の聖書を使用して教え、子供達が聖書の言葉を聞き感じたことを絵に描いて発表してもらおうともやっているとのこと。

中和田教会は岩渕リーダが今年要理学校は、御ミサを大切に、積極的に預かろうという目標達成のために、詩篇、答唱詩篇、アレルヤ唱等についてその意味と目的を理解させ、同時に歌い方の指導についての発表がありました。

昼食後小グループに分かれて分かち合いをおこないました。各教会ともリーダ不足、また御ミサが日曜日午前中2回あるため、子供達と信者との交わりができない等いろいろ問題を抱えながらも頑張っている姿が浮き彫りになったと思います。ビンゴゲーム形式の勉強方法等を参加者全員でおこないましたが、この方法は子供達が興味をもって参加できる手法ではないかと思いました。

最後に主の祈りを手話で行いました。

キリストは長い歴史のなかでこの世の中心は愛であることを私たちに示してくださいました。そのキリストの愛を子供達に伝え教えていかなければなりません。今後は要理学校のリーダだけに任すのではなく、家庭で、教会共同体で子供達に伝えていければと思います。



## 敬老のお祝い

平成20年9月14日



病癒えし  
顔に出会いり敬老日  
石川 雅子





## 委員会だより

△9月7日(日) 10名出席▽

- 小林主任司祭挨拶・指示(後述の審議事項と重複しない部分のみ)
- 8-24、28留守中の電話受付奉仕に感謝。10-20、22司祭研修の折にも電話受付の奉仕をお願いしたい
- 11-3に一日黙想会の為に中和田聖堂使用依頼が藤沢教会よりあり。対応願いたい。
- 庭の木の選定と草とり。男性信徒有志で実施↓ヨゼフ会と調整
- 09年6-7または6-14に中和田教会聖信式を計画。準備願いたい。
- 11-23に予定されている初聖体には3人の子供たちが準備中。教会全体で盛上げたい。
- その他、バザーでの注意事項など。

### ■審議事項

- (1) 次年度委員選出について  
●例年通りの公募スケジュールと並行し、10-12迄に全委員が後任候補者を主任司祭に報告すべく適宜各グループ内で話し合いの機会を持つ。  
●また委員定数、グループの括り等を再度見直すことも視野に入れる。
- (2) 教会営繕計画について  
●オルガンの音が出ない不具合は直ったがまだ音程に問題あり、更に修理依頼
- 耐震検査… 聖堂の耐震計算の結果は問題なし。別途確認書入手。
- トイレ改修… 見積結果が出たが、高額なこともあって11-19に臨時信徒大会を開催して説明する
- オルガンやバリアフリー等の検討の為、本年新築の菊名教会を「教会建物を考える会」が9-21に訪問
- 第5地区/小教区の将来展望…
- 第5地区共同宣教師委員会の纏め役である久我神父/梅津委員長から、大船教会での「お話し会」



資料を例として送って頂いた。中和田でもこれに準じて色々な場でお話し会を重ねて総意を集約していく。概ね纏まった段階で教会全体で説明・議論する場を設定する。敬老の祝・予定通り9-14に行う「バザー」準備… 9-6にバザー券、食券など準備して9-7より販売開始した

### ■その他の議論

- 電話とFAXの番号は80316141に統一(従来のFAX番号80511475は廃止)

## 08年7月委員会後記 小野委員長

「第5地区と小教区の将来展望」が第5地区共同宣教師委員会で議論されており、これを受けて各小教区でいろいろな話し合いが始まっております。中和田教会が所属する第5地区でも、近い将来(司祭数減少のために)全小教区に主任司祭が常駐することが出来なくなることが明白となった現在、我々信徒がより主体的に小教区の運営に参画していくことが強く求められております。具体的には、司祭が常駐しない場合の小教区(教会)の運営・管理、また主日ミサの一部を「集会祭儀」で置き換えることなど、解決しなければならぬ多くの課題があります。(お隣の第6地区では、全教会が月に一度、主日ミサではなく集会祭儀をおこなって負担を等しく分かち合う行動が既に始まっておりです)

中和田教会でも、ヨゼフ会をはじめ色々な場を通して話し合いを始めつつありますが、信徒各位の積極的なご参画を切にお願い申し上げます。今までの教会の歴史を通して、我々が全く経験しなかったこと、また想定すらしなかったことが近い将来、現実に取りかかろうとしています。この課題を乗り越えるためには、信徒全員が協力して負担を分かち合って臨むことが不可欠であり、決して一部の委員や役員にやらせておけばよいということにはなりません。重ねてご協力をよろしくお願い申し上げます。

■早いもので、また委員の改選時期が近づいて参りました。委員会運営規約に則って、改選に関わる公示は信徒大会の2ヶ月前、即ち11月に行うこととなります。委員は極力多くの方々が経験されて小教区の運営をみて頂き、交代も一期(2年)毎に自然に行われる風土が出来ることが理想と感じます。加えて、前に書きました第5地区の動きなど、教会は新しい時代に入ります。信徒各位には、立候補されることも含めて深い関心をお持ち頂くことをお願い申し上げます。

■毎年行われている「教会とインターネット」ホームページ担当者連絡会議」が9-27に高円寺教会で開催され、出席して参りました。東京地区・横浜地区を中心に多くの教会の担当者が集まって、活発なディスカッションが行われましたが、どこの参加教会もいろいろな問題に直面しながらも、「宣教」に向けて如何に効果を上げていくかに知恵を絞っているようです。

ことを感謝します。わたしたちがこの「網」を宣教のために存分に使う力をお与え下さいますように…」という主旨で祈られました。インターネットの「ネット」とはまさに「網」の意味であり、これを聖書の記述と重ねた素晴らしいお祈りですが、各教会担当者の思いは、まさにこの祈りに集約されると思います。

ところで、中和田教会のホームページも開始してから足掛け6年で、アクセス件数も15000件を越えた段階ですが、内容的には少々マンネリ化していることは否めません。どなたか、お知恵やアドバイスを頂ければ有難いのですが、… 宜しくお願い申し上げます。

### バザー担当・アンドレグループからのお知らせ 代表 中島喜美子

皆さまから提供して頂いた手作り品、雑貨など、お陰さまでたくさん集まりました。10-26バザーに向け作業日が決まりました。ご協力宜しくお願い致します。

- ①品物値段付け… 10-16(木) 10:00
  - ②クッキー作り… 10-20(月) 8:45 ~ 13:00 立場地区センター
  - ③マドレーヌ作り… 10-23(木) 8:45 ~ 13:00 立場地区センター
  - ④前日手伝い… 10-25(土) 12:30 ~
  - ⑤当日手伝い… 10-26(日) 8:00 ~
- ※作業の分担表を掲示しますので、お手伝いできる方は、お名前をご記入ください。また砂糖、醤油、油、だしの素、紅茶(ティーバッグ)、グラニュー糖などありましたら「寄付ください」。